

## 第37期第5回理事会議事録

日 時：2013年5月15日（水）17時15分～20時00分  
 会 場：国立オリンピック記念青少年総合センター  
 404号室（東京都渋谷区）

出席理事：新野，藤谷，岩崎，経田，近藤，塩谷，  
 竹見，田中，徳廣，中島，中村（尚），  
 長谷部，廣岡，藤部，三上，余田，  
 以上16名（理事現在数20名）

出席監事：岡本，高谷（議題6から退席），以上2名  
 その他の出席者：高橋（大会実行委員会）  
 田沢，下道，渡辺（事務局）

## 議 題

議事に先立ち，新野理事長より春季大会を担当した  
 東京大学大気海洋研究所に対する感謝の意が表明され  
 た。

1. 第37期第4回理事会議事録の確認
2. 会員の新規加入等について  
 個人会員20，退会4を全会一致で承認。2013年5  
 月14日現在，会員数3,663名で個人会員は3,405名。
3. 2013年度総会について  
 総会参加票の集計と意見，総会の進行について確  
 認した。事業計画と予算案が報告事項となっている  
 ことについて，「天気」への総会資料掲載の中で回  
 答することとした。
4. 2013年度秋季大会，2014年度春季大会の準備状況  
 及び今後の担当機関について  
 標記に関して準備状況を確認し，2015年度春季大  
 会の担当を筑波大学に依頼する方向が了承された。
5. 第23回風工学シンポジウムについて  
 運営委員会委員長を藤部理事とすることを承認し  
 た。シンポジウムに向けた日程と作業を確認した。
6. 各委員会からの報告

庶務…

- 1) 転載許可  
 今期間はなし
- 2) 後援名義等使用依頼受付  
 ①名称：第31回レーザセンシングシンポジウム  
 主催：レーザレーダ研究会  
 期日：2013年9月12日～13日  
 場所：箱根湯本温泉 ホテルおかだ  
 名義：協賛  
 ②名称：防犯防災総合展 in KANSAI 2013

主催：防犯防災総合展実行委員会

期日：2013年10月17日～18日

場所：インテックス大阪

名義：後援

- ③名称：第14回可視化フロンティア「PIV講習会  
 2013」

主催：可視化情報学会

期日：2013年7月8日

場所：LMJ東京研修センター

名義：協賛

- ④名称：日本ヒートアイランド学会第8回全国大会

主催：日本ヒートアイランド学会

期日：2013年7月19日～21日

場所：信州大学工学部技術総合センター

名義：協賛

- 3) 「国際第四紀学連合第19回大会」(2015年名古屋)  
 の共催申請依頼についての報告。後援として協力す  
 ることを了承した。

- 4) 細則改定等に伴うホームページの変更内容の検討  
 状況が報告された。表彰ページの掲載内容について  
 議論した。

会計…2013年4月分の収支及び現預金検査報告。

天気…Vol.60 No.5 (2013年5月号)の掲載記事と，  
 Vol.60 No.6, 7 (2013年6, 7月号)の予定記  
 事の報告。

気象集誌…Vol.91 No.3の掲載予定記事の報告。

- ・科学研究費補助金が採択となり，今後5年間にわ  
 たり国際情報発信強化の取組への助成が得られ  
 ることが報告された。

気象研究ノート…今年度の発刊計画の他，効率的な編  
 集作業とするために執筆要領を定めたことが報告  
 された。

- ・『1993年以前に刊行した「気象研究ノート」に関  
 する著作権の学会への委譲についてのお願ひ』の  
 広報・周知として，著者一覧も学会HPに掲載  
 することが了承された。

SOLA…投稿論文の処理についての報告。

講演企画…2013年度春季大会講演予稿集の落丁につ  
 いて報告された。対策として，業者による作業工  
 程の追加を行う。

- ・2013年度秋季大会におけるスペシャルセッション

に7件の応募があったことの報告。

企画調整…今期評議員会の議題と準備についての報告。今後の準備作業を確認した。

学術…報告書「日本の気象学の現状と展望」の進捗についての報告。会員からの意見募集の開始は6月を予定。

- 航空機の利用に関する提案と今後の検討事項について報告があった。
- 数値モデルに関する検討部会の体制づくりを行っていることが報告された。

教育と普及…教育問題に取り組む検討部会の設置についての報告。

- 夏季大学の準備状況についての報告。

国際学術交流…今年第6回日本・中国・韓国気象学会共催国際会議での9つのセッションについて、日本気象学会員からコンビナーを選定し、主催者の中国気象学会に連絡したことが報告された。

- 2014年の AOGS 札幌大会時に行う日本・中国・韓国気象学会共催国際会議開催に向けた進め方について議論した。
- 研究集会出席者への補助金の前期応募分について、2名を認めたことが報告された。

電子情報…ホームページの更新およびメーリングリストの発信状況についての報告。公益社団法人化に伴う変更があった。

- 電子版「天気」の公開サーバー移行について、依然検討段階であることが報告された。

- 気象研究ノートに係る情報更新を円滑に進めるため、同編集委員会委員の兼務で対応することを了解した。

地球環境…温暖化書籍出版事業の進捗状況の報告。

気象災害…研究集会「梅雨期の大雨 ～平成24年7月九州北部豪雨～」をメソ気象研究会との共催で実施したことが報告された。参加者は約150名と盛況だった。

人材育成・男女共同参画…労働契約法の改正に関して、各委員の所属機関の対応状況を集約中であることの報告。

7. 内閣府宇宙戦略室の日本気象学会ヒアリングの議事録

ヒアリング内容を議事録としてまとめ、内閣府宇宙戦略室とも確認作業を終えたことが報告された。

8. その他

公的機関より、リクルートブースへの参加申込が締切期限の後であったために断ったことが報告された。現在想定していない企業以外の申込でもあり、今後受付について議論する必要があることを確認した。

平成25年6月20日

公益社団法人日本気象学会  
理事長 新野 宏  
監 事 岡本 幸三  
監 事 高谷康太郎